

2023年5月29日

【決算説明会資料】

2022年度実績と2023年度業績見通しについて



住友電設株式会社

1. 2022年度の実績
2. 2023年度の見通し
3. 2023年度工事種別の見通し
4. 中期経営計画 VISION24について
5. 株主還元方針について

1. 2022年度の実績
2. 2023年度の見通し
3. 2023年度工事種別の見通し
4. 中期経営計画 VISION24について
5. 株主還元方針について

◇経営成績 **受注高・売上高・経常利益・手持工事高は、過去最高を更新**

[受注高・売上高] 前期比増加

データセンター、物流倉庫、都市圏再開発などの大型工事が堅調に推移

[営業利益・経常利益] 前期比増益

働き方改革、IT投資など人と技術に対する投資に伴う経費増を、売上高の増加によりカバー

◇2022年度業績

(単位:億円)	2021年度		2022年度		前期比	
	実績	公表値	実績	公表比	増減	増減率
受注高	1,790	1,800	1,888	88	98	5.5%
売上高	1,676	1,750	1,751	1	75	4.5%
営業利益率	130.1 7.8%	131.0 7.5%	134.6 7.7%	3.6 0.2%	4.6 △0.1%	3.5%
経常利益率	139.0 8.3%	140.0 8.0%	143.9 8.2%	3.9 0.2%	4.9 △0.1%	3.6%
純利益率	91.4 5.5%	92.0 5.3%	93.8 5.4%	1.8 0.1%	2.4 △0.1%	2.7%
手持工事高	1,088		1,224		137	12.6%

◇2022年度配当金 直近公表から**8円増配**の **1株当たり94円 (期末51円)**

- 電力工事** 電力会社向け工事は順調に進捗、民需・再エネ案件の減少により、前期比減少
- 一般電気工事** 国内：データセンター、物流倉庫等大型工事が順調に進捗、前期並み
海外：データセンター等、大型工事の進捗と為替による押上げもあり、前期比大幅増加
- 情報通信工事** 通信：移動体基地局工事が一巡したこと等により、前期比減少
情報通信：大型の再開発案件等により、前期比増加
- プラント空調工事** プラント工事の進捗により、前期比増加

工事種別売上高 (単位：億円)	2020年度	2021年度	2022年度	'21-'22 増減率	2022年度 構成比
電力工事	209	203	191	△5.6%	10.9%
一般電気工事	871	1,007	1,060	5.3%	60.5%
単体+国内子会社	681	768	766	△0.3%	43.7%
海外子会社	190	238	293	23.2%	16.8%
情報通信工事	277	275	285	3.8%	16.3%
プラント・空調工事	101	106	121	13.7%	6.9%
その他 ※	83	86	95	10.2%	5.4%
合 計	1,541	1,676	1,751	4.5%	100.0%

※その他

保険代理店業務・空調機器・太陽光発電システム等の販売・機器製作・修理及び給湯器の製造販売

1. 2022年度の実績
- 2. 2023年度の見通し**
3. 2023年度工事種別の見通し
4. 中期経営計画 VISION24について
5. 株主還元方針について

2-1. 2023年度の見通し

◇ 事業環境

期待需要：データセンター等デジタル関連、物流倉庫等の成長分野、都市圏再開発事業、再生可能エネルギーをはじめとするカーボンニュートラル関連投資、ICT環境整備に伴う情報通信投資、大阪・関西万博関連投資、等

懸念リスク：人件費の高騰、資機材価格の高止まりや調達遅延、これらを受けた製造業を中心とした設備投資の延期や縮小・凍結による工事量の減少

◇ 2023年度連結業績予想：前期比増収増益

(単位:億円)	2021 実績	2022 実績	2023 業績予想	前期比 増減率	2024 VISION24
受注高	1,790	1,888	1,900	0.6%	2,000
売上高	1,676	1,751	1,850	5.6%	2,000
営業利益	130.1	134.6	135.0	0.3%	
率	7.8%	7.7%	7.3%		
経常利益	139.0	143.9	145.0	0.7%	150.0
率	8.3%	8.2%	7.8%		7.5%
純利益	91.4	93.8	95.0	1.2%	
率	5.5%	5.4%	5.1%		

◇ 2023年度配当金予想

2022年度と同額の **1株当たり年間94円**（中間47円）を予定

2-2. 2023年度 工事種別売上高の見通し

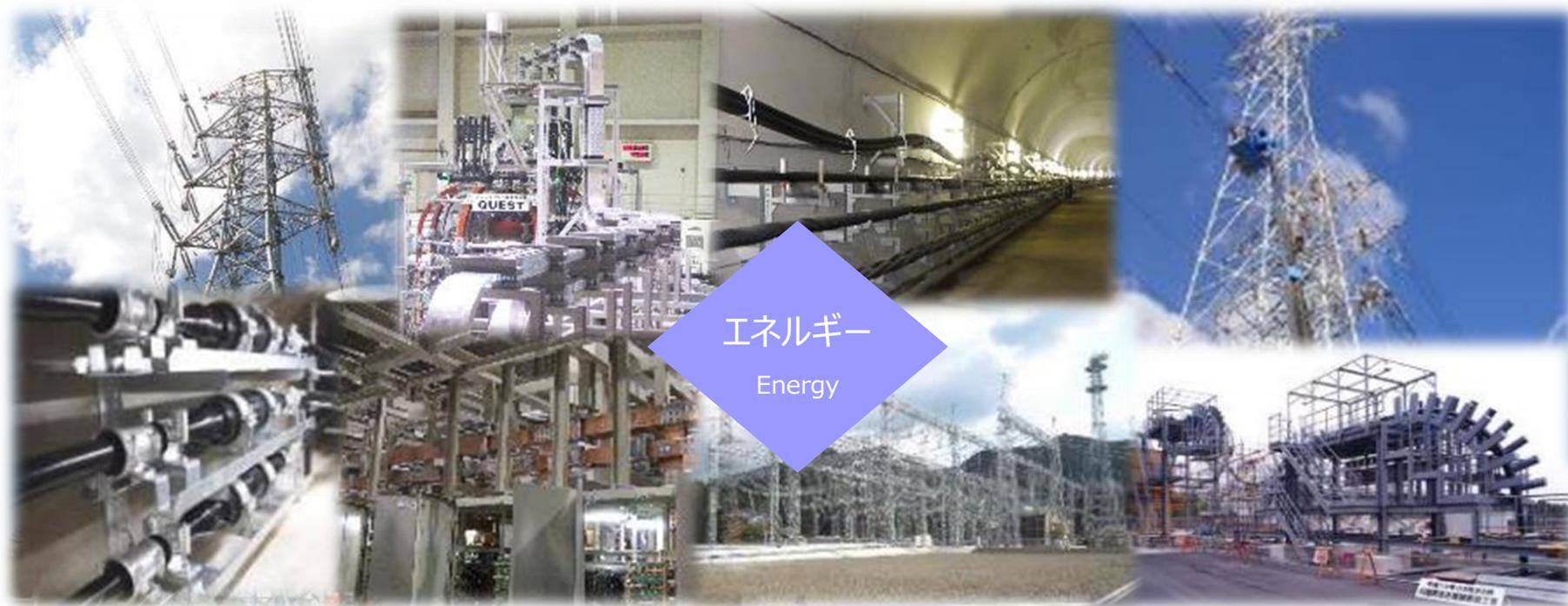
2023年度売上高は、手持工事の進捗等により、全ての工種において増収を計画

工事種別売上高 (単位：億円)	2021年度	2022年度	2023年度 予想	'22-'23 増減率	2023年度 構成比
電力工事	203	191	225	17.5%	12.2%
一般電気工事	1,007	1,060	1,110	4.8%	60.0%
単体+国内子会社	768	766	800	4.4%	43.2%
海外子会社	238	293	310	5.7%	16.8%
情報通信工事	275	285	300	5.2%	16.2%
プラント・空調工事	106	121	130	7.9%	7.0%
その他 ※	86	95	85	△10.1%	4.6%
合 計	1,676	1,751	1,850	5.6%	100.0%

※その他

保険代理店業務・空調機器・太陽光発電システム等の販売・機器製作・
修理及び給湯器の製造販売

1. 2022年度の実績
2. 2023年度の見通し
- 3. 2023年度工事種別の見通し**
4. 中期経営計画 VISION24について
5. 株主還元方針について

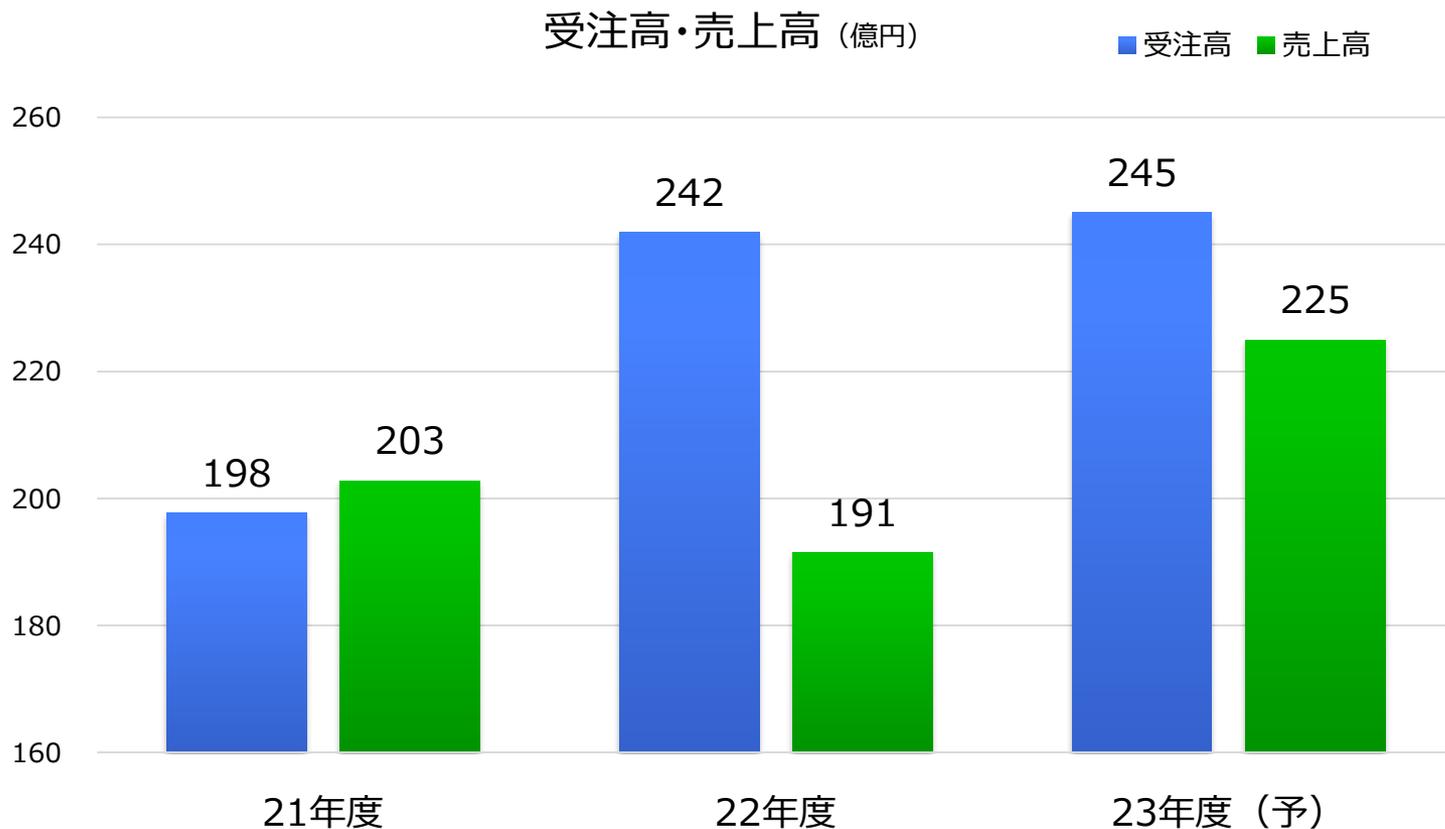


顧客のニーズと信頼に応え、**高品質な電力輸送技術**を提供。

現代社会になくてはならない電気。住友電設はこの「電気」の輸送に必要な架空送電設備、地中送電設備、変電設備、配電設備等に多くの施工実績を誇っております。

また、現在では新エネルギー関連分野である太陽光発電所、風力発電所、水力発電所からの電力を供給するための系統連系設備についても携わっております。

詳しくは当社ホームページをご覧ください。 <https://www.sem.co.jp/business/energy/>



【2023年度見通し】

電力会社向け案件、鉄鋼メーカー向けを中心とした民需案件、再生可能エネルギー関連投資にも注力、中期的な成長に取り組む。

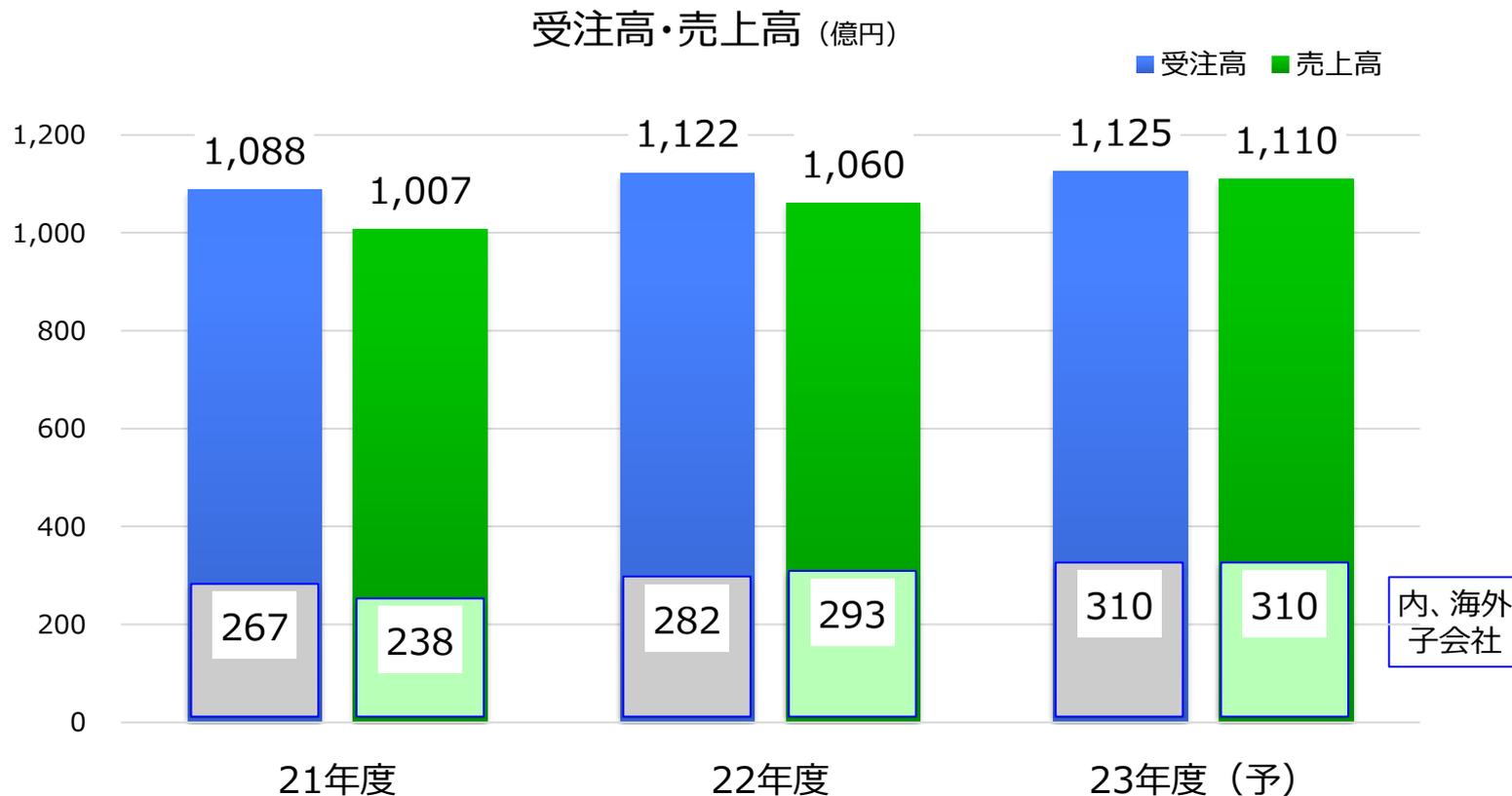
2023年度は、受注高・売上高ともに前期比増加を計画。



電気：重要性を増す電気設備において、**迅速かつ高品質**なサービスを提供。
海外：東南アジアで**50年の実績**。お客様と地域の発展に貢献。
環境：太陽光、蓄電池、バイオマスなど**新時代のエネルギー活用**に貢献。
エンジニアリング：FMS・BMSなど制御・マネジメントシステムにおいて、顧客満足度の高いエンジニアングを提供。

住友電設は、各種電気設備（強電・弱電・防災・セキュリティ）について、高い技術力を武器に、迅速かつ高品質な計画・設計、施工、メンテナンスを実現。豊富な国内外の実績をもとにあらゆるニーズに対応していきます。

詳しくは当社ホームページをご覧ください。<https://www.sem.co.jp/business/electric/>



【2023年度見通し】

国内：データセンター、物流倉庫などの成長分野に加え、工場案件、大阪・関西万博案件にも注力。2023年度売上高は、前期比増加を計画。

海外：日系企業による東南アジア投資の確実な確保に加え、非日系企業からの受注にも注力。2023年度受注高・売上高は、ともに前期比増加を計画。



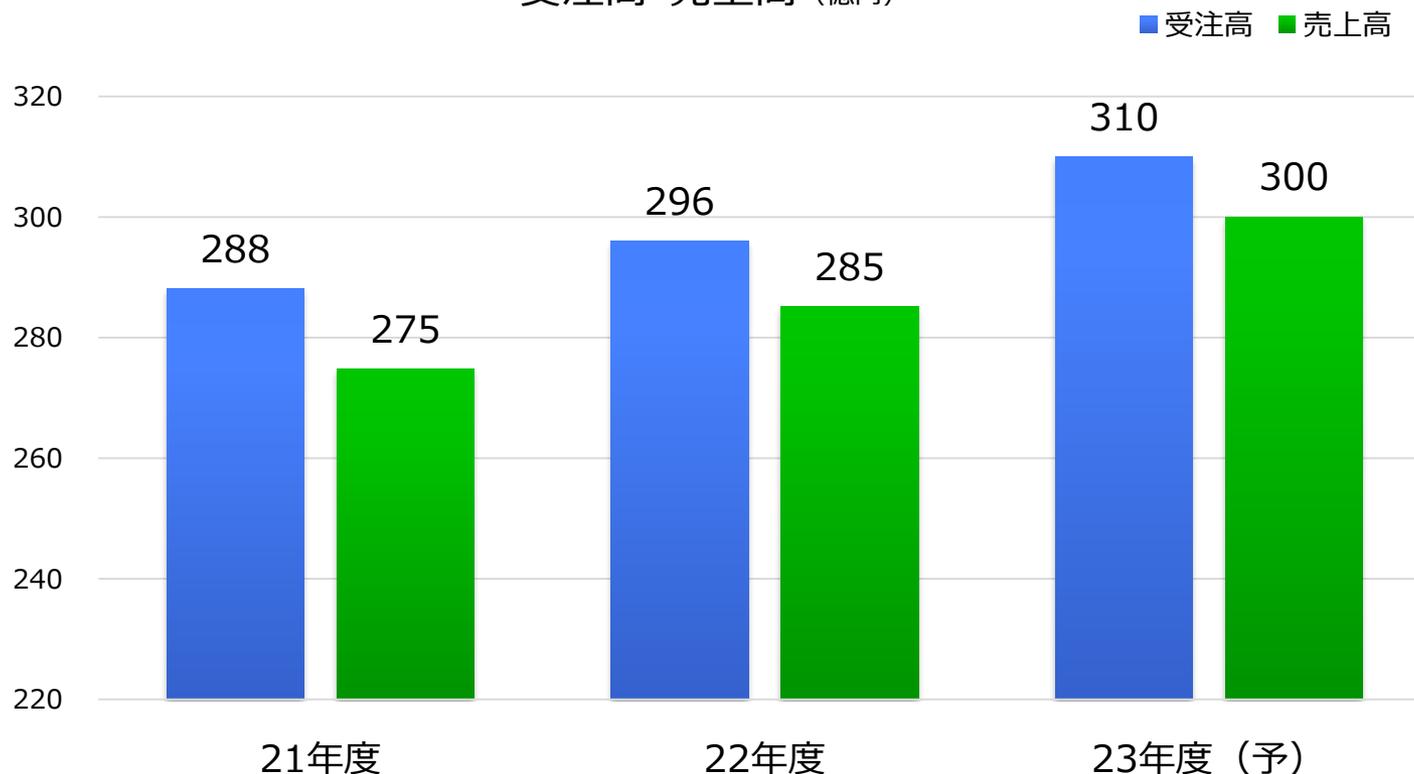
蓄積されたノウハウで最適なネットワーク構築をサポート

通信・放送インフラのコンサルティングからシステム設計・施工・運用保守までのトータルエンジニアリングを提供。これからのICT社会を支えています。

IT社会の発展とともに、そのインフラである情報ネットワークの重要性は高まるばかりです。住友電設では、同業他社に先駆けて情報ネットワーク構築に取り組み、さまざまな企業・大学・病院・データセンター等での導入を実現。これまでに蓄積された構築ノウハウを活かし、設計・構築、運用・保守まで最適なシステムをトータルに提供いたします。

詳しくは当社ホームページをご覧ください。 <https://www.sem.co.jp/business/information/>

受注高・売上高 (億円)



【2023年度見通し】

都市圏再開発、医療・文教施設、社会インフラ事業にかかる案件の獲得、大阪・関西万博案件にも注力。2023年度は、受注高・売上高ともに前期比増加を計画。

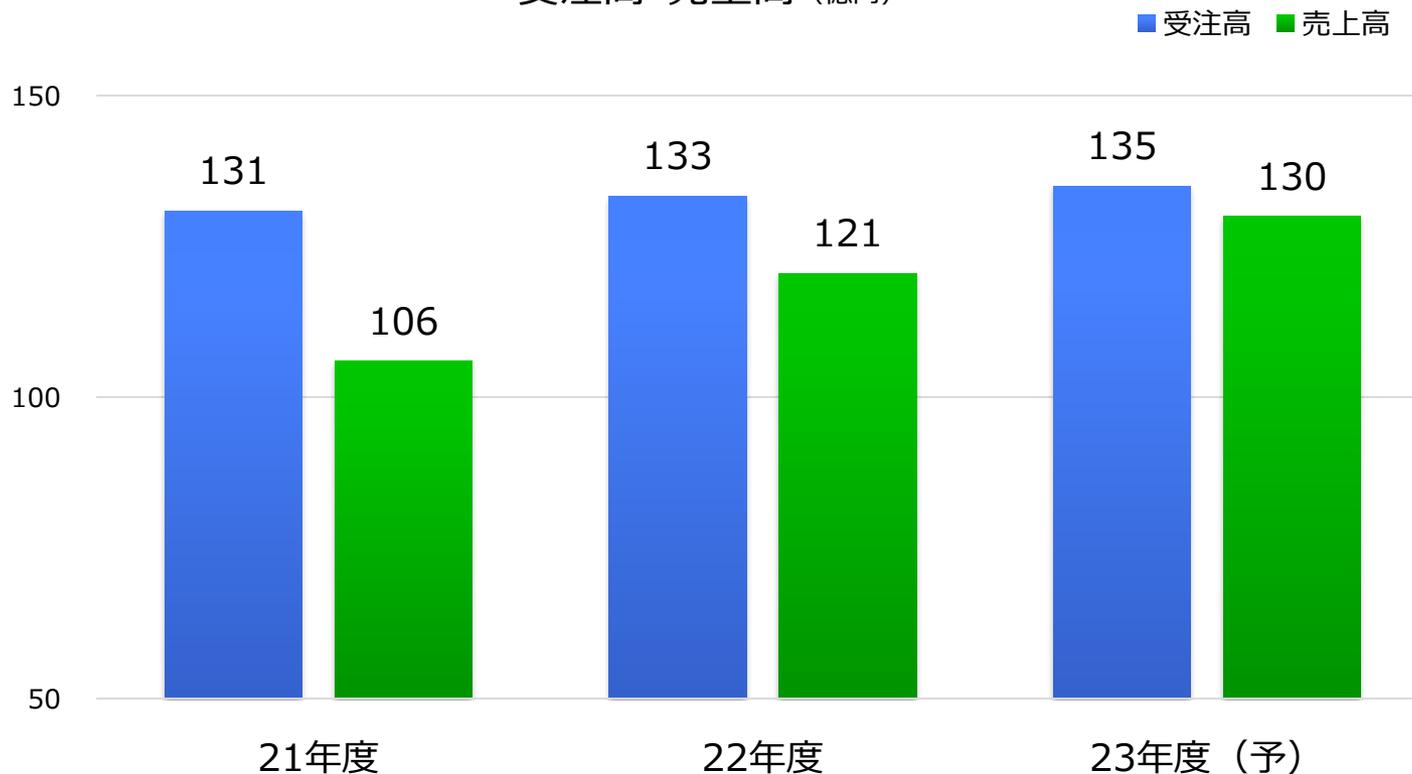


ビルや工場における環境をより快適に、便利に

各種製造プラントにおけるプラント機械工事、工場・オフィスビル・ホテルなどの空調・衛生設備工事において、計画・施工・メンテナンスを実施。さまざまな用途のビル、工場において、衛生的で快適な環境の確保、生産・管理面での利便性の向上を実現します。

詳しくは当社ホームページをご覧ください。 https://www.sem.co.jp/business/plant_hvac/

受注高・売上高 (億円)



【2023年度見通し】

住友電工グループの設備投資及び大阪・関西万博案件への対応、大手ゼネコンやプラント直需案件の受注に注力。2023年度は、受注高・売上高ともに前期比増加を計画。

1. 2022年度の実績
2. 2023年度の見通し
3. 2023年度工事種別の見通し
4. 中期経営計画 VISION24について
5. 株主還元方針について

4-1. 中期経営計画 VISION24 (2020~2024) 住友電設

【住友電設グループのあるべき姿】

人と技術の成長を通して、真に社会から求められる
総合エンジニアリング企業を目指す

【V24テーマ】

新たな成長戦略と総合力で持続的発展を！

チーム住友電設 ・ SEMブランド力の向上 (安全安心・高品質、信頼性・企業価値)

【重点施策4項目】

安全品質・
コンプライアンス

顧客満足度向上の追求
(提案営業力・施工力・技術力)

人材の確保・育成と
働き方改革

未来を見据えた
企業価値の向上

住友電設グループ企業理念
住友事業精神



< 連結 受注高・売上高・経常利益・経常利益率 >

	VISION24 2024年度目標
受注高	2,000億円
売上高	2,000億円
経常利益	150億円
経常利益率	7.5%

- 成長投資
2020－2024年度（5年間）計 200億円
- 資本効率指標
ROE（自己資本当期純利益率）：10%をターゲット
- 財務健全性指標
自己資本比率：50%水準を維持
- 株主還元施策
配当性向：40%をターゲット（2024年度）

◇ 進捗状況

2022年度は「VISION24」の**中間年度**にあたることから、数値目標及び重点施策の進捗状況について確認し、当社グループ全体としては、「VISION24」**最終目標**に向け、概ね**順調に進捗している**ことを確認いたしました。

◇ 工事種別の進捗状況

電力工事	再生可能エネルギー関連工事の期ずれなど進捗の遅れ
一般電気工事	(国内) eコマース、テレワークの定着を背景としたデータセンター及び物流倉庫案件の拡大、都市圏再開発案件の旺盛な需要など、想定を超える伸展 (海外) 円安に伴う日系投資の低迷を非日系投資で補い、概ね計画通りに推移
情報通信工事	通信工事は5G関連投資の前倒し受注とその後の社会インフラ案件へのシフト、情報ネットワーク工事は機器の納入遅れ等による伸び悩み
プラント・空調工事	大型案件を手掛ける等順調に推移

◇ 成長投資の進捗状況

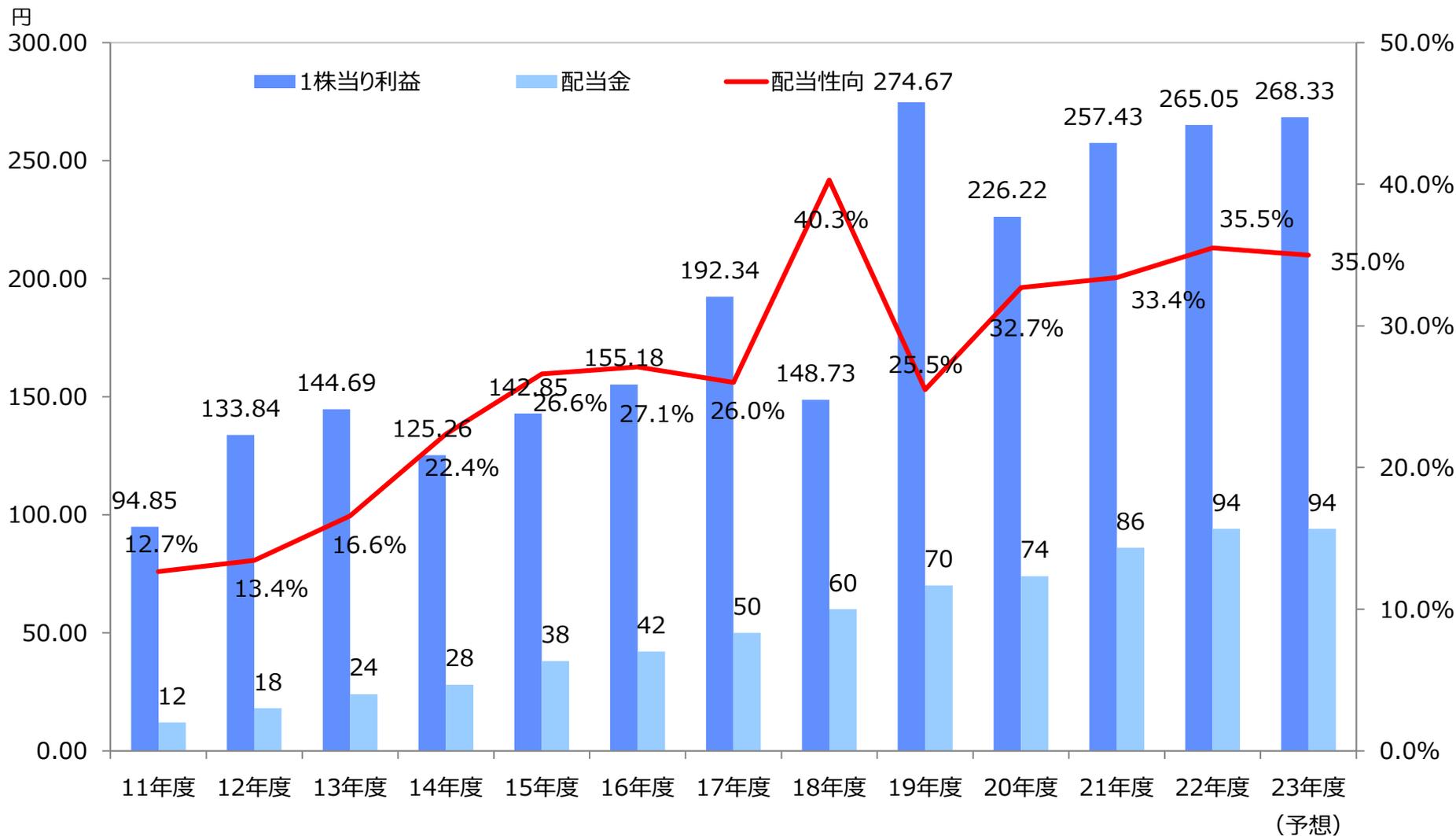
「川崎テクニカルセンター」、「茨城送電線工事センター」の開所、現場支援のためのIT投資、職場環境改善のための投資など、人と技術に対する投資を中心に、総じて計画に沿って実施しており、さらなる収益力の拡大に注力してまいります。残る課題として、事業拡大のためのM&A・アライアンスについても引き続き取り組んでまいります。

1. 2022年度の実績
2. 2023年度の見通し
3. 2023年度工事種別の見通し
4. 中期経営計画 VISION24について
5. 株主還元方針について

業績並びに将来の事業運営を考慮した上で、安定的な配当を実施してまいります。

	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度 (予想)
親会社株主に帰属する 当期純利益 利益率	97.7億円 5.7%	80.5億円 5.2%	91.4億円 5.5%	93.8億円 5.3%	95.0億円 5.1%
配当金/株[円]	70	74	86	94	94
中間配当	30	35	37	43	47
期末配当	40	39	49	51	47
(増配)	(+10)	(+4)	(+12)	(+8)	
1株当たり利益 [円]	274.67	226.22	257.43	265.05	268.33
配当性向	25.5%	32.7%	33.4%	35.5%	35.0%
ROE	13.8%	10.3%	10.6%	10.2%	

11年度から12期連続の増配を実施



業績予想等に関する注意事項

本資料に記載されているデータや業績予想は、当社が現時点において入手している情報に基づいて判断したものであり、実際の業績は今後様々な要因により予想と異なる場合があります。

お問い合わせ先

住友電設株式会社 総合企画部

大阪本社 06-6537-3440